



日 時 : 2015 年 6 月 21 日 (日) 15:40~17:00
会 場 : 京都看護大学 (京都市中京区壬生東高田町 1-21)
主 催 : 日本保健医療行動科学会
共 催 : 日本保健医療行動科学会近畿支部

谷口文章先生を偲ぶ

日本保健医療行動科学会 理事一同

本学会前会長の谷口文章先生（甲南大学文学部教授）が、2013年11月9日に急逝されました。67歳でした。

先生は、応用哲学、環境倫理学、生命倫理学がご専門で、日本国内はもとより、中国、カナダ、タイ、マレーシアなど世界各地に研究・教育・活動のネットワークを築かれ、まさにグローバルに活躍されていました。本学会においては、学術大会の会長を2回（1997年、2009年いずれも神戸）、国際会議の大会長を3回（2001年神戸、2006年バンコク、2010年クアラルンプール）務められ、また本学会の資格研修や支部活動等、長きにわたりその発展に尽力されました。このたび谷口文章先生の生前のご功績が広く認められ、従五位・瑞宝小綬章が授与されました。

谷口先生の人間性豊かなお人柄は誰からも慕われていました。谷口ゼミは、ゼミ学生や卒業生はもちろん様々な人が集い、いつも活気に満ちていました。先生の穏やかな表情、素敵なお笑顔、独特の雄弁な語り、そのお姿は今も思い出され、次回の学術大会にでも来てくださるような気がします。まだまだお若く、これからさらに本学会の発展にご尽力いただきたい思いでありました。先生への深い感謝と敬意をもって、安らかな旅立ちを心よりお祈り申し上げます。

<日本保健医療行動科学会雑誌第28巻第2号（2014年2月）より転載>

谷莊吉先生を偲ぶ

日本保健医療行動科学会 理事一同

去る2014年3月17日、谷先生が逝去されました。胃がんで手術されてから持ち直されて、我々の研究会でも元気なお顔を見せて頂いておりましたのに。心から安らかな旅立ちをお祈りいたします。

谷莊吉先生は日本保健医療行動科学会の重鎮であり、かなり早い時期からホスピス活動に関われ「大阪・生と死を考える会」の会長として各地で生と死についての「話し合い」と「わかちあい」に先駆的に取り組まれました。

先生の教えは我々学会員ばかりでなく市井の人々にも強い感銘を与え、「一度しか講演を聞いてませんが、人生の師と仰いでおります」と告別式でもその早すぎる死を痛む声が多く聞かれました。先生は1931年神奈川県のお生まれで、横浜市立大学医学部、東京大学大学院をご卒業の後、東大医科学研究所助教授、金沢医科大教授を歴任され、1995年ホスピス病棟を立ち上げるべく小松病院院長に赴任され、その後、勢力的に生と死について語り続けられ、我々の学会にも大きな足跡を残されました。それにしても、我々は甲南大学の谷口文章先生に続いて谷莊吉先生まで失ってしまいました。これまで、何か困ったことがあるとお二人の貴重なご意見が我々の指針になってきたように思われます。

今、我々はまるで父親を失ったような深い悲しみにくれています。それでも失意にくれてばかりはいられません。きっと前に進み続けることが谷先生の御意思であるに違いありません。しっかり前を見つめて進み続けようではありませんか。

<日本保健医療行動科学会雑誌第29巻第1号（2014年6月）より転載>

柳井勉先生を偲ぶ

日本保健医療行動科学会 理事一同

本学会監事の柳井勉先生（関西福祉科学大学名誉教授）が、2014年11月20日に急逝されました。

柳井先生は、東京大学教育学部体育学健康教育学科をご卒業になり、兵庫県庁に就職され18年間勤務された後、1978年に大阪教育大学に専任講師として赴任され、助教、教授に昇格されています。その間、東京大学で保健学博士を取得されました。大阪教育大学を定年退職後は関西福祉科学大学で学部長等の要職に就かれ、退職後は健康ひょうご21県民運動阪神北会議の会長を務めるなど地域の健康教育に尽力されていました。

兵庫県庁時代は、健康手帳の開発など一貫して健康教育に従事されました。大阪教育大学に赴任されてからは、公衆衛生学、社会医学、特に健康教育や地域保健等の研究・教育・社会貢献に取り組み、1991年には日本公衆衛生学会近畿地方会会長賞を受賞されています。また、学会活動にも積極的に参画され、本学会や日本公衆衛生学会、日本学校保健学会、日本健康教育学会など、多くの学会の理事や評議員をお務めになりました。

本学会においては、1995年～2010年まで5期15年にわたり理事を務められ、その後2010年から監事を務められておりました。特に1994年に「パフォーマンスと保健行動－健康教育と行動変容の科学－」をテーマに開催された第9回学術大会（大阪）の大会長を務められ、「健康教育から見た保健行動」について基調講演をされました。また、本学会が主催した国際保健医療行動科学会議、近畿で開催された本学会学術大会や近畿支部活動でも要職を担われ、特に近畿支部活動（研究会）では、中川米造初代支部長から引き継ぎ、長らく支部長として多大な貢献をされました。

柳井先生の几帳面で面倒見のよいお人柄は誰からも信頼され慕われていました。自身のゼミ学生や卒業生はもちろん、中堅、若手の研究者や実践家に対しても、いつも暖かく関わられ、丁寧に導かれていました。先生への深い感謝と敬意をもって、安らかな旅立ちを心よりお祈り申し上げます。

<日本保健医療行動科学会雑誌第30巻第1号（2015年6月）より転載>

～偲ぶ会懇親会～

人間の健康にかかわる行動の変容過程を実証的、体系論的に解明しようとする健康行動科学に関する研究・教育の発展のために、特に人と人とのコミュニケーションを大切にしてきた3名の先生方は、研究会終了後にはいつも懇親会を設定され、活発にディスカッションされていました。

今回も皆様と別会場で懇親を深めたいと存じます。

日時：2015年6月21日（日）18:00～

会場：酒菜と釜飯 すいしん 西院店

会費：4,000円（予定）

※懇親会に参加ご希望の方は、前日までにeメールで申込みをお願いいたします。

（懇親会申込先）担当：花家

go.go.kinoko21@gmail.com（*を@に変更してください）



プログラム

15:40～

進行 花家 薫



開会のあいさつ

中川 晶

15:45～



谷口 文章 先生 の 思い出

中川 晶

16:00～



谷 荘吉 先生 の 思い出

山崎 久美子

16:15～



柳井 勉 先生 の 思い出

元村 直靖

16:30～



自由懇親

本学会での功績

会場からのフリースピーチなど

16:55～



閉会のあいさつ

中川 晶

17:00

終了

